



長かった2学期の終わりとともに、今年も終わろうとしています。  
 ところで、おそらくほとんどの人が今年の始めに何らかの目標を立てていたのではないでしょ  
 うか。それを今でも思い出すことができますか？  
 「そんなものは立てていないよ」という人もいるでしょう。しかしたぶん私を含めて多くの人は、  
 漠然としたものであっても何らかの期待感を持ってこの年を迎えたはず。そうした期待感を  
 原動力に、主体的に努力を積み上げることができた一年でしたか？それともただ「何かいいこと  
 が起こればいいなあ」と「期待しただけ」で終わってしまった一年でしたか？  
 今回の進路ニュースはみなさんの2学期を振り返るとともに、新しい年を迎えるにあたって考  
 えてもらいたいいくつかの話題を提供していこうと思います。

期末考査以降先週まで、掃除の時間が5限後になりました。その理由は何でしょう。担任等  
 から聞いている人はいいとして、「聞き逃した」みなさんにもう一度お知らせしておきます。それ  
 は、3年生が掃除後、センター試験の「直前演習」を行なっているためです。  
 現在、3年生の多くはセンター試験を間近に控えています。直前演習とは、その模擬演習のこ  
 とです。毎日の掃除後、日によって違いますが、遅いときは5時近くまでかかります。  
 それで終わりではありません。演習が終わるとその日の演習を検討し、疑問点を質問している  
 生徒がいます。また、特別教室に移動し、そのまま自学自習に励む生徒がいます。残された時間  
 を最大限に活かし、少しでも実力を伸ばそうと一所懸命です。前の日も遅くまで勉強したのでし  
 ょう。睡眠不足気味で少し疲れている様子は否めません。しかしその目には、ひとつの目標に向  
 かって自らを奮い立たせている「ひたむきさ」のようなものが感じられます。そしてそれこそが、  
**1年後のみなさんの姿**なのです。  
 次のコラムを読んでみましょう。

### ただいま 午後2時40分？ お盆??

この数字の意味が分りますか？これは物の例えです。みなさんがこの坂出高校に入学し  
 てから再来年のセンター試験まで、約1000日強の日数があります。これを1日に例えれば、  
 2年生の今の時期はおおよそ午後2時40分に相当。同じく夏休みに例えれば、だいたいお盆  
 の時期にあたる。…と、こうなるわけです。

例えばある日曜日を想像してみてください。明日は学校があります。何気なく時計を見  
 ると午後2時40分。日曜日の晴れやかな開放感にも何かしら「終わりかけてるなあ…」とい  
 うもの寂しさが感じられる時間帯です。同じく「そろそろ溜まった宿題でもしなきゃなあ」  
 という現実感が漂い始める、夏休みもすでに終盤に入りかけたお盆です。みなさんの位置  
 しているところ。いわばそれは、そんな「時」なのです。

このコラムが何を言いたかったのかは想像して欲しいところです。しかし端的に言ってしまう  
 ばこの話は、**2年生のみなさんに残された受験までの時間が「そう長いものでもない」ということ**  
 を物語っています。「まだ1年もある」のではなく、「もうあと1年しかない」のです。

みなさんの通過点になるだろう受験。これは嫌でもやって来ます。今あえて「良い意味での焦  
 り」を感じなければ、結局それ以上の「どうしようもない焦り」をいつかは感じてしまうことにな  
 ってしまいます。早く気持ちを切り替えましょう。みなさんはもう**立派な受験生**なのです。

そんな「良い意味での焦り」を感じてもらいたい。そんな想いから学校では、今学期にいくつか  
 のきっかけをみなさんに提供しました。全部思い出せますか？

- 2年進学講演会(9月15日に実施)
- 学部・学科研究のための調べ学習(総合的学習として、2学期を通じて実施)
- 大学訪問(各希望学部に分かれて、11月21日に実施)
- 2年強化学習会(12月25日・26日に希望者に対して実施予定)

進学講演会を除いては、あえてそのいずれもを「全員に無条件に与える」ものとはせず、「自ら  
 の意思によって行わせる」スタイルとしました。これは、ただ漠然と『**大学にでも行こうかな**』  
 という考えから抜け出し、1日でも早く『**〇〇を勉強したいから〇〇学部(〇〇学科)に行く。**  
**そのために高校時代にできる必要な準備は〇〇である。**』と言えるようになってもらいたかった  
 からに他なりません。

入学後から現在まで、もう何回も進路希望調査を行いました。また、模試などでも志望校を書  
 いてきましたよね。そのたびに学校名や学部・学科が頻繁に変わってきた人はいませんか？もち  
 ろんそれが、自分の将来というものをよく考えたうえでそうなった、というのなら問題はないと  
 思います。しかし、その都度「よく分らないからとりあえず書いておこう」式にここまで来てしま  
 った人。いつまで、「将来あるべき自分」を先送りにするつもりですか？

もうすでに11月に行われた模試の結果が手元に届いている  
 と思います。その時のあなたの姿勢は次のどれに近かったで  
 しょうか？

- A：成績表を見た。点数や偏差値、判定を見た。
- B：Aに加えて、同時に配られた「Viccess」を読んだ。
- C：Bに加えて、家に帰って問題用紙と解答用紙を見比べた。
- D：Cに加えて、自分が間違えた問題をもう一度考えてみた。



姿勢がAからDになるにしたがって手間はかかります。同時に自分の実力がよく分ります。そ  
 して何よりも大切なこととして、間違いなく実力がついてきます。

来年になると1・2ヶ月に1回のペースで模試が行われます。そのたびに実施から1ヶ月程で  
 結果が返ってきます。過去の例を見て言えること。それは点数や偏差値、判定を見て一喜一憂す  
 るだけの人は、ずっとその一喜一憂を繰り返す(喜の部分が減っていくことも特徴ですが)ことにな  
 りがちだということ。これはつまり、いつまでたっても「安定して成績が上がらない。」という  
 ことです。原因ははっきりしています。模試を「受けっぱなし」にしているからです。確かに校外  
 模試はその対象が全国の受験生です。その中の自分の力は、偏差値・判定という「情報」で容易  
 に知ることができます。しかし、**知ったからといって、それだけで成績の向上はありえません。**  
 一般に言えることですが、情報は得るだけでなく、それを判断し、自分にとってより良く活用し  
 なければその価値は、思いのほか少ないものです。

例えば、自分の第一志望がD判定やE判定だったとしましょう。そのような情報を得て、『こ  
 れでは希望は薄い。あきらめて別の学校を第一志望にしよう。』と考えるのか、『あとどれほど  
 得点できればB判定・C判定になるだろうか？そのために間違えた問題の中で何とかかなりそう  
 なところはなかっただろうか？』と考えるのか…。どちらがより良い情報の活用法と言えるでしょ  
 うか？…**答えは簡単ですよ。**

【冬休みになすべきこと(お勧めの学習方法)】

◆◆◆国語◆◆◆

1年生に学習した骨格(基礎)に筋肉(基礎定着)を増強するチャンスです。各自のトレーニングに期待します。

◆◆◆地歴◆◆◆

世界史B…そろそろ世界史も受験を意識した学習をしてみたいでしょうか。といっても、特別な学習ではありません。基本単語を繰り返し覚えることから始めてみませんか。  
日本史B…冬季課題を仕上げる。要点ノートなどを活用して実力テストの勉強をする。  
地理B…冬季課題などの問題集を解答しながら、今までの復習。

◆◆◆数学◆◆◆

苦手分野の克服。

◆◆◆理科◆◆◆

物理…「センサー物理」等を利用して力学・波動分野の復習。  
化学…2学期に習った中和、酸化還元、電池、電気分解の復習。(センター試験の計算分野はそこから出ます!)  
生物…課題の該当欄を参照。

◆◆◆英語◆◆◆

まずは、課題をきちんとすること。与えられた課題に漫然と取り組むのではなく、自分の力になるように、工夫しましょう。例えば、英語の構文もただ意味をノートに写すのではなく、解説を読み理解した上で、訳せるようにしましょう。意味の解らない単語や熟語が出てきたら、何回も書いて覚えるようにしましょう。また、これだけは最低冬休み中にしなければならないものを課題にしています。必ず提出期限を守ること。

【冬休み中の課題一覧(5教科)】

教科・科目	内 容	提出期日	提出先
国語	「実力テスト範囲」の学習 (2年生に告ぐ)のとおり、3月14・15・16日課外を実施する	1月11日	授業担当者
地歴	世史B 授業中に配布した課題プリント		(授業で指示)
	日史B 授業中に指示した「課題研究」	授業時	授業担当者
	地理B 冬季課題プリント集(実力テストの範囲)	実力テスト実施日	地歴科職員室
数学	実力テストの範囲(音楽科・人文コースは宿題なし)		(授業で指示)
理科	物理 演習ノート物理①(夏休みの宿題の続き)最後まで	実力テスト実施日	物理準備室前 レターケース
	化学 2・3・4組：リードα 例18, 149, 150, 151, 152, 154 +各自2学期の復習 1・6組：トライアル 例15, 96, 97, 98, 99, 100, 101 +各自2学期の復習		(授業で指示)
	生物 特に提出を求めるような課題はありません。実力テストの範囲を各自でしっかり復習することがそれです。実力テストでその成果を見せてください。		
英語	・読み物プリントとワークシート(The Gift of the Magi) ⇒物語を読んでワークシートを完成 ・英語の構文150 第16章～第18章 ⇒やり方は英語Ⅱの先生の指示に従うこと ・Next Stage 第1章～第2章 ⇒やり方はライティングの先生の指示に従うこと		(授業で指示)

注)・表中の提出期日における「授業時」とは、3学期最初の授業時を指します。  
・この一覧は12月15日現在のものです。これ以外にも、また他教科の課題もあるかもしれませんので、詳しくは教科担任の先生方に確認をとるようにしましょう。

【参考：第5回実力テスト出題範囲】

○国語…<現代文>「新国語便覧」P.184～P.189 「日本文学史ノート」P.57～P.64  
<古文>「基礎からの読解古文」P.262～P.275, P.304～P.336 「合格古文単語」P.267～P.271  
<漢文>「理解しやすい漢文」P.184～P.233, P.234～P.258, P.287～P.312  
※詳細は、別紙配布説明済み。

○地歴…<世界史B>教科書 P.51～P.83 (冬休みの課題から4割近くを出題する)  
<日本史B>教科書 ～P.111 (右範囲の要点ノート・図表を含む)  
<地理B>教科書 ～P.65, P.282～P.295, 冬季課題プリント集

○公民…<現代社会>(地歴の授業で指示)

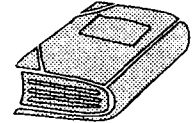
○数学…<ⅠA(共通)>教科書 数学Ⅰ 「図形と計量」  
チャート式数学Ⅰ 基本例題97～130  
教科書 数学A 「平面図形」  
チャート式数学A 練習140, 142, 145, 147, 162, 164, 176, 179, 181, 182, 185

<αβ(文理理・理数)>数学α…教科書 数学Ⅱ P.160～P.205  
チャート式数学Ⅱ 練習302～304, 315～331, 355～370  
数学β…教科書 数学B P.6～P.46  
チャート式 数学B 練習1～19, 39～54

<αβ(文理文・総合)>教科書 数学Ⅱ P.160～P.205  
チャート式 数学Ⅱ 練習302～304, 315～331, 355～370

○理科…<物理>教科書P.52～P.211 (冬休みの課題からの出題あり)  
<化学>教科書の最初からP.118まで (電池と電気分解は絶対に出題する)  
<生物>教科書P.14～P.133 (ただし、P.122～P.129は除く)

○英語…英語の構文150 第16章～第18章  
Next Stage 第1章～第2章



時間割の詳細は  
教室に掲示済

さて冬休みです。2週間程度の短い期間とはいえ、途中で年が変わります。冒頭にも述べましたが、そういった点で心機一転、期待感を持って「その気」になることができる貴重な時期です。そこでみなさんは何を考え、何を始めるのでしょうか？

○3学期に行われるテスト一覧(定期考査を除く)

1月10・11日(水・木)第5回実力テスト<5教科で実施>

1月20・21日(土・日)進研模試(記述式)<5教科で実施>

2月10・11日(土・日)進研模試(マーク式)<5教科で実施>

次回の進路ニュースは1月発行の予定です。